

目次

I はじめに	1
1. 藤野 一夫	2
2. 橋本みなみ	7
II ベルリンの芸術文化環境調査プロジェクト・ドキュメント	9
III 研究ノート	51
1. 橋本みなみ ◆ ドイツの公共文化施設と〈文化仲介〉概念—フィールドワークから理論へ—	52
2. 南田 明美 ◆ 「教育」でも「聴衆開発」でもないエデュケーション・プログラム (EP) —コーミッシェ・オーパー・ベルリンの「オープン・デー」を事例に—	59
3. 喜多 亮介 ◆ 廃墟の芸術拠点「Tacheles」—その歴史と現在—	71
4. 伊藤 麻未 ◆ 多文化共生のために地域の劇場ができること —ベルリン・クロイツベルク Ballhaus Naunynstrasse を事例に—	76
5. 陳 怡如 ◆ 台湾の人形劇ワークショップ及び人形劇に関する議論	83
6. 三宅洸太郎 ◆ Das Projekt Hafencity と Elbphilharmonie Open Air について	88
7. 寺田 卓矢 ◆ ゲルリッツ市周辺地域における文化の多層性と図書館の可能性	94
IV 「混浴“学生”世界」(2010) 議事録	99
1. 「アートマネジメントの人材育成に関するラウンドテーブル」	100
2. 「コミュニティとアート」	125
3. 「自治体文化政策」	132
4. 「グローバリゼーションとアート」	150
V 「混浴“学生”世界Ⅱ」(2011) 議事録	169
1. 「こどもとアート」	170
2. 「ちいきとアート」	183
3. 「アートマネジメントの人材をそだてる」	201
資料	221
1. 藤野一夫「ベルリンのアートシーンをめぐって」『神戸新聞』2011年7月29日(日/英)	222
2. 藤野一夫「分断都市 多文化に託す明日」『朝日新聞』2007年10月26日(日/独)	225
3. 「混浴“学生”世界」(2010) チラシ	229
4. 「混浴“学生”世界Ⅱ」(2011) チラシ	230
5. 調査関連写真	231
編集後記	233